



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会長 / 前田 博志 ◆副会長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹事 / 黒澤 明男 ◆クラブ広報・情報委員長 / 新藤 修一



2019~2020 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1475 令和元年10月8日

◆点鐘	前田 博志 会長
◆SAA	望月 完 委員
◆ソング	奉仕の理想
◆ゲスト	林 大一 様 (米山奨学生)
◆ピシター	滋野 眞 君 (上田RC)

【会長挨拶】 前田 博志 会長

【国歌 君が代】

皆さんこんにちは。

今日は、米山奨学生 イムデイルさんをお迎えしています。イム君、ようこそ。そしてホストクラブの滋野さん。ご苦勞様です。ご歓迎いたします。

さて、あのうだる様な盛夏、甲子園野球真只中の8月、独唱させて頂いた「栄冠は君に輝く」。早いもので一つの季節が移行しました。「栄冠は君に輝く」を歌った時、小池先生がニコボックスをしてくれまして、「前田、この次は国歌を斉唱して見ろ」とおっしゃいました。とんでもないと思いました。ソングリーダーをさせて頂く時も、国歌だけは特別です。気持ちも入れ込んでしまいますし、とても難しい。だから、あらあらとんでもありません。ないない、と思いました。恐れ多い。しかし、時間が過ぎて、国歌独唱？それって一生の内一回くらいいいじゃないか。と思うようになりました。日本男児として生まれたからには、一生に一回くらい国歌を独唱してみたい。それって、私ごときが独唱する場合は、一体何処にあるでしょう。小諸市？いくら小泉市長が友達だとしても、私ごときが市の行事で国歌を独唱したら「あれ、誰だい？ばかじゃないか。身の程知らずな」と非難轟々になるでしょう。もう少し単位を小さくして、例えば、私達掛川会員が会頭をしている小諸商工会議所でももししたら「何で前田なんだ。ただじゃおかないぞ」と言われます。

しかし、この小諸浅間ロータリークラブだったら、「まあ会長だし、あいつバカだからまあ仕方ないか」と思って頂けるんじゃないか。会長している時だけだな。と思い今日是非独唱させて下さい。

君が代は演奏曲とするととても秀でた曲ですが、歌う曲とするととても難曲です。先日のMGC「マラソングランドチャンピオンシップ」を観た人。大会開始に先がけてコブクロの小淵さんが独唱しました。ひどかったですね。大失敗。プロでさえ歌えないんです。昔、堀内孝雄もそうでした。

今日は、イム君がいらっしゃっていますし、敬意を込めて国歌を独唱しますからお聞きます。

【幹事報告】 黒澤 明男 幹事

1. ロータリー日本事務局よりロータリーレート変更について

10月より1ドル=108円(現行106円)に変更

2. 「ダメ・ゼッタイ。」国連支援募金事務局より礼状

3. 例会変更

上田六文銭RC 10月15日(火) 定刻受付なし

10月22日(火) 定刻受付なし

佐久RC 10月24日(木) 定刻受付なし

4. 週報

東御RC

・例会終了後理事会

【本日の配布物】

週報 1474号、ロータリーの友 10月号

◆出席報告 中河 邦忠 委員

会員数 21名 出席義務者 21名 免除者 0名

本日 出席 17名

事前 MU 0名 80.95%

前々回(9/24) MU 0名 80.95%

◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会 矢島 栄一 委員

・ロータリーの友紹介

◆ラッキー賞

NO. 7

滋野 眞 君

◆ニコBOX 橋詰 希望 委員

前田 博志君	今日は君が代、ありがとう。
橋詰 希望君	林大一君、滋野様今日はありがとうございました。林君は敏ちゃんの後輩だそうです。
青松 英和君	林大一さんの訪問、歓迎します。
掛川興太郎君	結婚祝の素晴らしいお花ありがとうございました。
黒澤 明男君	先週、欠席し申し訳ありませんでした。

矢島 栄一君	最近、ゴルフでイップスになり、パターが絶不調です。早く治って欲しいです。
小池平一郎君	林さんようこそ歓迎いたします。前田会長の国歌素晴らしかったです。
滋野 眞様	米山奨学生、林大一君宜しくお願い致します。日韓の友好の為頑張っています。日本が大好きな林君です。温かく見守って下さい。

【本日のプログラム】 米山奨学生 林 大一 様



研究分野

日本に来た理由

↓
より広い世界を経験したい！

地域デザインとは？

↓
地域課題の解決に向けて利害関係を持つ人々がより良い状況を創り出すために協働するプロセスをデザインすることである。

サークル活動

우리(ウリ)
韓国の文化を知らせる
↓ ↓

これからの私

4年間の生活を通して日本と上田が好きになりました

オルガン針株式会社



【謝辞】

歴史のなかで、隣国ととても仲良しの時もあるし、そうでは無い時もあります。最悪は戦争になってしまう時もあります。ドイツとフランスを例にとるまでもなく、世界の全ての国が同じです。

ご存じの様に、いま、私達日本国と韓国も、難しい時期になっています。

でも、国と国との関係に拘わらず、私達とイムデイル君は友人ですし、イム君も将来何処にいても、日本の友人を、ロータリークラブの友人を思い出して、日韓友好の懸け橋に是非なってもらいたいと切に思います。

今日は本当にありがとうございました。

次週のプログラム：10月15日 「フリートーク」

次々週のプログラム：10月22日 「法定休日の為休会」